

差出人： メールニュース／[b-active 株式会社](#)  
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.046–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願い致します。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

今回も連続で、1月12日（水）に開催しました ACCN テーブル 19「第9回セルフ・キャリアドック・フォーラム」での厚生労働省キャリア形成支援室長 國分一行様の「問い」へのわたくしの考えや意見お伝えいたします。

今回は「問い2 キャリアコンサルタントが活躍するためには？」についてです。企業内でキャリアコンサルタントが活躍する姿を、皆さまはどのように描いていらっしゃいますか？

前回は記載した通り、わたくしが描く企業領域キャリアコンサルタントの活躍とは、企業の持続的成長のために人材戦略としての従業員の働きがい向上とエンゲージメント強化を推し進める「キャリア自律」支援活動の役割実践です。

つまり、私たちが養成講座や資格試験で学んできた「個人の不安悩み相談カウンセラー」としての役割から、「組織の課題解決支援コンサルタント」の役割への私たち自身の意識変革と、社会や組織の役割認識の変革が重要となってきます。

特に、まずは私たちキャリアコンサルタント自身が、企業におけるキャリアコンサルティングに対するマインドセットを変え、役割実践のためには何を学ぶ必要があるのかを理解し習得することが求められます。

そのためにも、資格取得の養成講座カリキュラムには無い、企業領域におけるキャリア自律支援のキャリアコンサルティング手法やセルフ・キャリアドックに関する学びと実践の場が必要だと強く感じます。

具体的な学習内容としては、例えば、キャリア面談手法として養成講座で学ぶ「解決支援型」面談から、「開発支援型」への面談スキルの拡大や、キャリアワークショップのコンテンツ作成と運営、企業への全体報告手法の習得などです。

そのような学習機会の場として、微力ながらわたくしも国家資格の更新講習として、自らが実践をしている企業領域キャリアコンサルティングのノウハウをお伝えする講座を開催しております。

今後、社会に「組織課題解決支援コンサルタント」の役割を広く認識させるためにも、私たちキャリアコンサルタントが企業領域での専門性を高めることが先決であり、同時に専門家としての認定制度なども前向きに検討すべきかもしれません。

そして最後にネットワーク活動が必要だと考えます。企業領域の専門家同士が常に情報の共有や研鑽する機会がレベルを向上させます。私たち ACCN テーブル 19 もその場となっています。

よって、職能団体である ACCN の役割は非常に大きく、社会インフラとして企業内キャリアコンサルタントの活躍へのアイデアや施策を、より具体的に検討し実践してもらいたいと期待します。

なお、3 月度のセルフ・キャリアドック・フォーラムに再度國分室長様にご参加いただく予定ですので、企業内キャリアコンサルタントの方は、ぜひ ACCN テーブル 19 へのご参加をお待ちしております。

お問合せ：ACCN Table No19 大阪万博・共創チャレンジ事務局 [team.accn.table19@gmail.com](mailto:team.accn.table19@gmail.com)

今回は、「問い3 そもそも何をするのか？効果やメリット・デメリット？」について意見を述べたいと思いますが、ぜひ皆さまからもご意見などをいただければ幸いです。

———— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は 3 月 13 日（日）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は 3 月 20 日（日）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は 3 月 27 日（日）

お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 [www.b-active.co](http://www.b-active.co)

Copyright© 2022 b-active Inc.